

国立大学法人島根大学役員会（第347回）＜議事要録＞

日 時 令和2年2月4日（火） 14:00 ～ 15:55

場 所 本部棟3階 特別会議室

出席者 服部学長，藤田理事，秋重理事，荒瀬理事，吉田理事

欠席者 井川理事，宮脇理事

〔陪席：千家監事，篠塚監事，企画部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長，医学部事務部長，自然科学系事務部長，企画広報課長，情報推進課長，教育企画課長，総務課長，財務課長，医学部総務課長，監査室長〕

議題1 人間社会科学研究科（仮称）の設置について

- 荒瀬理事から人間社会科学研究科（仮称）の設置について説明があり，原案どおり議決された。

議題2 働き方改革への対応方針（案）について

- 藤田理事から働き方改革への対応方針（案）について説明があった。
- 学長から特定職員制度の勤務態様・賃金体系に関する資料について，配置転換の中にキャンパス間の異動が含まれるという誤解を招かないように資料を修正するよう意見があった
- 学長からの意見を踏まえ，資料を一部修正することとしたうえで議決された。

議題3 特別招聘教員制度の設置について

- 学長から特別招聘教員制度の設置について説明があった。
- 千家監事から文書としての取り決めが必要ではないかとの意見があり，総務部長から学長決裁の要項を定める予定であるとの回答があった。
- 篠塚監事から議案概要説明書の趣旨について，若手であっても優秀な研究者は招聘すべきであることから，「著名な」ではなく「世界的に水準の高い」としてはどうか意見があった。
- 学長から国内からも優秀な研究者を招聘することも想定されるため「海外から」の文言は不要ではないかとの意見があった。
- 議案概要説明書の趣旨に記載の「海外から著名な」の文言を修正することとしたうえで議決された。

議題4 島根大学における学生等の授業料その他の費用に関する規則の一部改正について

- 藤田理事から島根大学における学生等の授業料その他の費用に関する規則の一部改正について説明があり，原案どおり議決された。

議題5 令和元年度内部留保金の使用可能額について

議題6 令和元年度内部留保金の使用申請について

- 議題5と議題6は関連するため，あわせて審議された。
- 吉田理事から令和元年度内部留保金の使用可能額について説明があり，続いて令和元年度内部留保金の使用申請について説明があった。
- 千家監事から議題5の議案概要説明書の概要の「減価償却期間の各年度において減価償却相当額の予算を確保するものとする」との文言は，「内部留保金の取扱いについて」で規定していないため不要ではないかとの意見があった。
- 議題5については，千家監事からの意見を踏まえ，議案概要説明書を修正することとしたうえで，議決された。
- 議題6については，原案どおり議決された。

議題7 国立大学法人島根大学監事候補者選考委員会要項の制定について

- 学長から国立大学法人島根大学監事候補者選考委員会要項の制定について説明があり、原案どおり議決された。

協議事項1 定期モニタリングの実施について（個人情報漏洩の防止体制）

- 藤田理事から「個人情報漏洩の防止体制」についての内部統制報告書の説明があった。
- 千家監事から統制活動（2）の保有個人情報の定期点検の状況について確認があり、藤田理事からまだ集計中であるとの回答があった。
- 千家監事から内部統制の課題（4）について、契約内容についての検討だけでなく立ち合いの必要性も検討すべきではないかとの意見があった。藤田理事から立ち合いも含めて契約内容の変更を検討するとの回答があった。

報告事項1 令和2年度予算（案）の概要について

- 吉田理事から令和2年度予算（案）の概要について報告があった。
- 学長から成果を中心とする実績状況に基づく配分については、次回経営協議会（3月11日開催）で、本学の今後の対策を示すこととしているため、それぞれの担当について、理事を中心に今年度実施分について分析し来年度新たな共通指標が導入される可能性も勘案して対応策を検討するよう意見があった。
- 千家監事から目標管理の観点から本学がすべきことはなるべく年度計画に収斂するような方向にすべきであるとの意見があった。
- 篠塚監事から成果を中心とする実績状況に基づく配分について、ダイバーシティ環境醸成の状況は配分率が低い、短期的に改善が見込める項目であるため、積極的に取り組んでほしいとの意見があった。

報告事項2 大規模地震による被災を想定した業務継続計画（BCP）の一部改正について

- 藤田理事から大規模地震による被災を想定した業務継続計画（BCP）の一部改正について報告があった。
- 篠塚監事からBCPは大部にわたるので、学生や教職員への伝達を考えると、最低限な対応を明記した10ページ程度のいつでもポケットから出せるコンパクトな冊子を作成すべきではないかとの意見があった。藤田理事から使えるもののできるよう初動対応を中心としたコンパクトなものを作成するとの回答があった。続いて藤田理事から災害対応としては、ポケットマニュアルを学内構成員に配付しており、最低限の対応はできると考えているが、再度ポケットマニュアルの周知をするとの回答があった。
- 千家監事から山口大学ではポケットマニュアルに初動対応の際の自分の役割を書かせるページを作っている。他大学の取組も参考にしよう意見があった。

報告事項3 島根大学と島根大学生生活協同組合との災害時における相互協力に関する協定書の締結について

- 藤田理事から島根大学と島根大学生生活協同組合との災害時における相互協力に関する協定書の締結について報告があった。
- 篠塚監事から新型コロナウイルスが流行している現状を踏まえ、マスク等の提供に関する事項は盛り込む必要があるのではないかとの意見があった。藤田理事から本協定は災害対策基本法に規定する災害に限定した協定となっており、新型コロナウイルスに関連する事項については、別途協定を結ぶ必要があるとの回答があった。

報告事項4 コンプライアンス・プログラム（e-ラーニング）（R1.10.1～R1.12.31）の実施状況について

- 藤田理事からコンプライアンス・プログラム（e-ラーニング）（R1.10.1～R1.12.31）の実施状況について報告があった。
- 学長から受講率が100%に満たないコンテンツについては、何らかの方策をとるのか確認があり、藤田理事から受講率を上げるための方策をとるとの回答があった。

報告事項5 附属病院運営状況について

- 学長から井川理事欠席のため、附属病院運営状況については次回役員会において報告するとの説明があった。

報告事項6 業務削減（改善含む）について

- 吉田理事から業務削減（改善含む）について報告があり、あわせて132件（内容が重複するものを含む）の提案が出てきているとの報告があった。

報告事項7 第177回教育研究評議会の議題等について

- 学長から第177回教育研究評議会の議題等について報告があった。
- 荒瀬理事から「全学共通教育の改革について」を協議事項として追加するよう意見があり、追加することとした。